人材育成が、院内体制づくりと地域連携の強化につながる

# 施設が遺伝性腫瘍コーディネーター(HTC)を育成すると、遺伝性腫瘍診療はどう変わる?

Hereditary Tumor Coordinator

## —— 所属長・施設管理者向け ——

遺伝性腫瘍コーディネーター（HTC: Hereditary Tumor Coordinator）は、
遺伝性腫瘍が疑われる患者および血縁者を見いだし、適切な専門診療につなぎ、
院内外の連携や継続支援を担う医療職です。



### ① 候補者を選ぶ



- がん医療・遺伝性腫瘍に関わる職員から選定
- 看護師・薬剤師・臨床検査技師など多職種が対象

### ② 学ぶ・受験する




- HTCセミナーに参加する
- 実務経験を整理して申請・受験する

**遺伝性腫瘍コーディネーター（HTC）候補者**

### ③ 院内で活躍する




- 家族歴の確認
- 遺伝性腫瘍が疑われる患者・血縁者の拾い上げ
- 専門医療機関への紹介前後の支援をつなぐ

### ④ 施設全体に広がる



- 院内教育・情報共有が進む
- 地域連携・逆紹介が円滑になる

## 施設側のメリット

**1 遺伝性腫瘍診療の役割分担が見える化する**

誰が何を担うかが明確になり、業務の効率と質が向上します。

**2 患者支援が途切れにくい**

紹介前から診療後まで切れ目のない支援を実現します。

**3 地域での遺伝性腫瘍診療体制の均てん化に貢献**

地域連携が強化され、地域全体の医療の質向上につながります。

遺伝性腫瘍コーディネーター（HTC）は、専門職の代替ではなく、
院内外をつなぐ**調整・支援人材**です。

日本遺伝性腫瘍学会　HTC/FTC制度小委員会